

伊万里市立山代中学校 教育相談だより

ほのぼの



2025. 4. 28

No.1 文責 浦崎 森戸

新年度を迎えて

生徒一人ひとりが希望に胸をふくらませ、スタートした新学期。この一年間生徒たちが笑顔で過ごし、心身共に伸び伸びと成長することを願ってやみません。保護者の皆様のご協力を得ながら、教育相談の側面からも、生徒一人ひとりの“自分探し・自分づくり”のお手伝いをしていきたいと考えています。

新しい学級・友達・先生との出会いから約3週間、生徒たちは新しい環境にも徐々に慣れ、元気に学校生活を送っています。しかし、新しい環境に戸惑いを感じたり、悩んだりしているお子さんもあるかもしれません。お子さんのことで気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

今年度の相談活動は、下記のように進めていきます。

☆ 悩みごとの相談方法について

◎「自分ログ（日記）」の活用

「自分ログ（日記）」は、毎日担任の先生が目を通しています。

生徒の皆さんを理解していかしていこうと考えています。

◎定期教育相談

1学期 6月2日～6月9日

2学期 11月～12月頃

学年担当を中心に、全生徒と面談します。

☆ 自主来談

先生たちをはじめ、スクールカウンセラーにお手伝いいただき相談活動にあたります。

今年度のスクールサポーターの先生は、浦崎 安規 先生です。

スクールカウンセラーは「心の専門家」です。専門的な知識や技法をいかして、心の健康回復のための助言や支援をしてくださいます。安心してご相談ください。

☆ 5月のスクールカウンセラー来校日

5月27日（火）

浦崎先生の来校予定日は、今後も「教育相談だより ほのぼの」でお知らせいたします。

ご希望のある方は、事前に学級担当に連絡をされるか、教育相談担当（野口）まで連絡いただければ、時間を調整いたします。

☎ 山代中学校 28-2026

裏面には保護者の皆様へホッとメッセージです。

「思春期の子どもとのコミュニケーション」

子どもたちは今、少年期真っただ中の、心と体がアンバランスなとても難しい時期にあると言えます。この時期をうまく乗り越えさせることが私たち教師や親の役目でもあります。これまで、親や教師の言うことに従っていれば良かった幼児期を経て、次第に社会や大人に対して疑問や矛盾を感じるようになり、友だちとの付き合いを大切に始め、少しずつ社会性を身に付けていきます。そのような時期に親は手をしっかりと離し活動範囲を広げてやる必要があります。

ただし、危険からは自分一人では守れないので、目は離してはいけません（監視ではなく）。「ひとりにしてほしい」という時期であり、遠くから見守ることも大切です。親や教師に反抗したり、非行や問題行動に走ったり、苦しい思いもありますが、しかし成長の過程です。共に成長しようとする姿勢をもちたいものです。

子どもと大人の間で揺れ動いているこの時期。子どもの親離れと同時に、親の子離れもしていく必要があるのかもしれないね。

子育て四訓

- 一、乳児はしっかり 肌を離すな
- 一、幼児は肌を離せ 手を離すな
- 一、少年は手を離せ 目を離すな
- 一、青年は目を離せ 心を離すな

☆ 話しかけても返事をしてくれない。話をしているうちにケンカになってしまう・・・
こんなふうに感じているなら、話し方を少し工夫してみてはいかがでしょうか？

You（あなた）メッセージ

「・・・しなさい」「・・・しないからいけないのだ」「・・・すればよかったのに」
（思わず子供に言ってしまいますが・・・）

こちらは助言のつもりでも、相手は責められた、命令された、非難されたと受け止めてしまうことがあります。

I（アイ）メッセージで話してみてはいかがでしょうか？

「私は」を主語にして自分の気持ちを穏やかにはっきりと話す。

「私は〇〇なので、△△と思います。（あなたはどう思いますか？）」

「私は〇〇と思うよ」

話の始めに一言添えるのも、やわらかい表現になります。

「責めるつもりはないから、誤解しないで聞いてほしいんだけど・・・」

「あなたの考え方とは少し違うかもしれないけど・・・」

連休（ゴールデンウィーク）がやってきます、
心のどこかに気にかけていただけると嬉しいです。

